

新しい雪の情報の提供を開始します

11月13日16時から、現在の積雪・降雪の分布を推定する新しい雪の情報の提供を開始します。また今冬から、大雪の際に各地の气象台が発表する気象情報において、3日先までの降雪量予測を提供する他、短時間に記録的な大雪があった際には一層の警戒を呼びかけます。

平成30年1月の首都圏での大雪や2月の北陸地方での大雪など、近年、集中的・記録的な降雪が発生し、大規模な車両渋滞・滞留を引き起こすなど、社会活動への影響が問題となっています。気象庁はこの状況を踏まえ、今冬に向けて以下の取組を進めます。それぞれの取組の詳細は別紙をご覧ください。

1. 「現在の雪」(解析積雪深・解析降雪量)の提供

アメダスの積雪計による観測値に加え、現在の積雪の深さと降雪量の分布を推定する「解析積雪深・解析降雪量(かいせきせきせつしん・かいせきこうせつりょう)」の提供を、令和元年11月13日(水)16時より、気象庁ホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/>)で開始します。

これにより、雪の観測が行われていない地域を含めて積雪・降雪の分布を把握できるようになり、外出予定の変更や迂回経路の選択等に利用できます。

2. 3日先までの降雪量予測の提供

冬型の気圧配置により日本海側で数日間降雪が持続するようなどきなど、降雪量について精度良く予測が可能な場合には、府県気象情報等に「48時間先からの24時間予想降雪量」を記述します。

3. 短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

山形県、福島県(会津地方)、新潟県、富山県、石川県、福井県において、顕著な降雪が観測され、今後も継続する見込まれる場合には、「短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報」を発表します。

問合せ先：予報部 予報課 気象防災推進室 高橋
電話 03-3212-8341 (内線 3126) FAX 03-3211-8303

- 「現在の雪」ページでは、積雪・降雪が多くなっている**地域を把握**できます。
- 「現在の雪」ページでは、雪の状況を**道路・鉄道等の地図情報と重ね合わせて**見ることができます。
- 外出前に「現在の雪」ページと、交通情報や観光地の情報を合わせて確認することで、目的地までの**経路の変更**や除雪などの**交通障害への備え**、**観光の計画**等様々に活用いただけます。

アメダス
(12時間降雪量)

?

※図はイメージです

ニュースで大雪だと言っていたけど、出かけないといけない。どこの道路を通るのがいいんだろう？

令和元年
11月13日
提供開始

解析降雪量
(12時間降雪量)

— 道路

※図はイメージです

海寄りの地域で降雪量が多くなっているようだから、内陸の道路を通ろう！

【利用上の留意点】解析積雪深・解析降雪量は約5km四方の格子内の平均的な値であるため、格子ひとつひとつの値を直接的に利用するのではなく、上図の例のように積雪・降雪のおおまかな分布を把握するために利用してください。

